

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月から令和2年3月まで)

公益財団法人 医学教育振興財団

令和元年度において、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第39回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内医学教育事情調査の一環として、和歌山県立医科大学の協力のもとに「和歌山県立医科大学医学部における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。全国の国公立大学医学部等関係者100名が参加した。

- ① 期日： 令和元年9月5日（木）・6日（金）
- ② 場所： 和歌山県立医科大学
- ③ 討論の主題：ア 学生教育と研究指導について
イ 地域卒学生及び医師のキャリア形成支援について～卒前教育及び卒後教育～
ウ 学生の視野を広げるための国際交流
エ 早期プロフェッショナルリズム教育

④ プログラム：

9月5日（木）

- ・開会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
宮下 和久 和歌山県立医科大学学長
村垣 泰光 和歌山県立医科大学医学部長
- ・特別講演Ⅰ 医学教育の現状と課題
丸山 浩 文部科学省高等教育局医学教育課長
- ・医学科カリキュラム概要説明
村田 顕也 和歌山県立医科大学教育研究開発センター長
- ・講演1 学生教育と研究指導について
山田 源 和歌山県立医科大学教務学生委員会委員長
- ・講演2 地域卒学生及び医師のキャリア形成支援について～卒前教育及び卒後教育～
山野 貴司 和歌山県立医科大学地域医療支援センター副センター長
- ・講演3 学生の視野を広げるための国際交流
川股 知之 和歌山県立医科大学国際交流センター長
- ・講演4 早期プロフェッショナルリズム教育
村田 顕也 和歌山県立医科大学教育研究開発センター長
- ・学生との懇談
- ・懇親会（附属病院中央棟13階さくら）

9月6日（金）

- ・特別講演Ⅱ 医療系総合大学を目指した本学の取り組み
宮下 和久 和歌山県立医科大学学長
- ・総合討論 司会) 別所 正美 埼玉医科大学学長

- ・ 閉会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
宮下 和久 和歌山県立医科大学学長

- ・ 施設見学 ①OSCE 室、卒後臨床研修センター、スキルスラボ、②地域医療支援センター、遠隔診療、③救急外来

2. 医学教育に関する研究の助成

(1) 令和元年度「医学教育研究助成」

① 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。本財団審査委員会において審査を行い、申請 20 件のうち以下の 5 件に助成した。

氏名	所属	研究課題（助成額）
三橋 利晴	岡山大学病院新医療研究開発センター助教	疫学・統計学演習にピア・インストラクションを加えた際の学習効果向上に関する調査研究（30 万円）
末永 潤	横浜市立大学医学研究科脳神経外科講師	頭頸部解剖実習における修正 Thiel 法の開発（30 万円）
小松 誠和	久留米大学医学部免疫学講座講師	アクティブラーナーを育てる協同（LTD）を基盤とした改良型 PBL テュートリアル教育効果の分析研究（30 万円）
堀田 晶子	東京大学大学院医学系研究科・医学部臨床実習・教育支援室助教	医学生的重要教育アウトカムを左右する学業・生活上の予測因子の解析に基づく教育・指導方法の開発（グループ研究）（65 万円）
高村 昭輝	金沢医科大学 医学教育学講座講師	能動学習方略を組み合わせた自己学習養成型・臨床実習前症候学診断学授業カリキュラム開発～事前学習・講義・SGD・ケースプレゼンテーション・シミュレーション・ポートフォリオの効果的組み合わせ～（2 年間の継続助成）（15 万円：前年度 30 万円）

②「医学教育研究助成（平成 30 年度）報告会」の開催

令和元年 12 月 26 日（木）第一ホテル東京において本財団役員等を対象に、医学教育研究助成（平成 30 年度）報告会が開催され、以下の報告が行われた。

- ・ 報告 1 医学生が能力を伸ばす際のトリガーとなる経験や行動、意識に関する混合研究方法を用いた調査研究
松本 暢平 千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター特任助教
 - ・ 報告 2 新生児蘇生講習会におけるアクティブラーニングのための教育システムの開発
岩永甲午郎 京都大学医学部附属病院小児科助教
 - ・ 報告 3 医学生、研修医の教育用骨髄穿刺・生検シミュレータの新規開発
西森 久和 岡山大学病院血液・腫瘍内科助教
 - ・ 報告 4 「日本発」自己調整学習力の確立支援プログラムの開発
松山 泰 自治医科大学医学教育センター准教授
- 司会) 前野 哲博 筑波大学医学医療系教授

(2) 令和元年度「医学教育賞（懸田賞）」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞（懸田賞）の第27号を授与した。なお、選考は日本医学教育学会に依頼した。

第27号受賞者：片岡 仁美 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座教授
論文：Can communication skills training improve empathy? A six-year longitudinal study of medical students in Japan. (Medical Teacher 2019;41(2):195-200)

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第31回「医学教育指導者フォーラム」の開催

令和元年7月23日（火）東京慈恵会医科大学において、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公立大学医学部等関係者125名が参加して医学教育指導者フォーラムを開催した。

① 主題 社会に開かれた医学教育

② プログラム

- ・開会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
丸山 浩 文部科学省高等教育局医学教育課長
- ・趣旨説明 福島 統 東京慈恵会医科大学教授／教育センター長
- ・講演1 “Patient and public involvement in undergraduate medical education”
Judy McKimm (Director, Strategic Educational Development / Professor, Medical Education, Swansea University Medical School, UK)
司会) 車谷 典男 奈良県立医科大学副学長
- ・講演2 “Society and medical education from a U.K. perspective - how medical education in the U.K. has changed, is changing and will change according to social changes”
Sir Terence Stephenson (Nuffield Professor of Child Health, Institute of Child Health, University College London / Formerly Chair, General Medical Council, UK)
司会) 内木 宏延 福井大学医学部長
- ・総合討論 司会) 鈴木 康之 日本医学教育学会理事長
話題提供 社会が求める医師の養成
山口 育子 認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長
話題提供 DIPEX-Japanによる「語り」のデータベース
－患者が主人公の医療実践へのメンターとして
中村千賀子 認定NPO法人健康と病いの語り DIPEX-Japan 理事
話題提供 市民・患者さんが参加する医学教育
中村真理子 東京慈恵会医科大学教育センター教授
パネリスト) Judy McKimm/Terence Stephenson/山口育子/中村千賀子/中村真理子
- ・閉会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
- ・レセプション（大学1号館4階学生ホール）

(2) 第31回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が英国の大学医学部において4週間の臨床実習を体験する制度である。

本年度は全国の国公立大学医学部医学科より36名の学生の応募があり、財団の選考委員会による選考を経て16名を派遣予定であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響でリーズ大学が受入れを中止するなどの状況となり、派遣者は以下の8名となった。

また、派遣された8名全員が派遣途中で日本に帰国した。

①留学期間（当初予定）

- ・ 令和2年3月2日(月)～3月27日(金)
- ・ 令和2年6月1日(月)～6月26日(金) [リーズ大学]

②留学生

- ・ ニューキャッスル大学医学部（3名）：

古賀菜奈子（女）	愛媛大学
久永めぐみ（女）	順天堂大学
平野 零（男）	帝京大学

- ・ ロンドン大学セントジョージ校医学部（2名）：

西岡凜太郎（男）	群馬大学
須賀 友子（女）	京都府立医科大学

- ・ オックスフォード大学医学部（2名）：

寺島 里佳（女）	群馬大学
張 択合（男）	浜松医科大学

- ・ グラスゴー大学医学部（1名）：

浅井 崇博（男）	慶應義塾大学
----------	--------

4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』第39号を編集刊行した。また、第39回「国内医科大学視察と討論の会」（開催：和歌山県立医科大学）報告書、平成30年度「英国大学医学部での臨床実習のための短期留学」報告書を作成した。

5. その他

(1) 令和元年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」（文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力）が、令和元年7月24日（水）に東京慈恵会医科大学において開催され、これに協力した。

(2) 第51回日本医学教育学会特別企画の実施

平成2年に開始された財団の英国短期留学の参加学生が累計450名に達した。これまでの留学の成果を情報発信するため、令和元年7月27日（土）に京都府で開催された第51回日本医学教育学会大会において特別企画「日・英の医学教育の課題と展望－医学教育振興財団の英国短期留学の経験を通じて」を行った。

6. 会員

東北医科薬科大学が新たに会員校となり、全医科大学・医学部 81 校（国立 43 校・公立 8 校・私立 30 校）が一般会員として事業の実施に参画している。

令和元年度に賛助会員として財団の事業にご協力いただいた企業は、次の 12 社である。

アステラス製薬株式会社	アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社	協和キリン株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	塩野義製薬株式会社
株式会社スズケン	武田薬品工業株式会社
第一三共株式会社	中外製薬株式会社
東邦薬品株式会社	株式会社メディセオ

7. 寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

- ・「令和元年度医学教育振興財団事業」に対する寄附として
株式会社医学書院 50,000 円
- ・「第 31 回医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘旅費として
公益財団法人持田記念医学薬学振興財団 500,000 円

8. 令和元年度 医学教育振興財団 会議録

月 日	会 議 等	議 事
令和元年 5月21日(火)	第16回理事会 (医学教育振興財団事務局)	議案 (1) 平成30年度事業報告について (2) 平成30年度収支決算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (4) 国際交流基金の取り崩しについて (5) 東北医科薬科大学の入会について 報告 (1) 職務の執行状況について (2) その他
6月21日(金)	第12回評議員会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 平成30年度事業報告について (2) 平成30年度収支決算について 報告 (1) 国際交流基金の取り崩しについて (2) 東北医科薬科大学の入会について (3) その他
7月23日(火)	第31回医学教育指導者フォーラム (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載

7月24日(水)	平成元年度医学・歯学教導者のためのワークショップ (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
7月27日(土)	第51回日本医学教育学会特別企画 (京都府)	詳細は「事業報告書」に記載
8月26日(月)	英国短期留学選考委員会 (東京ガーデンパレス)	議案 (1) 面接試験合格者の決定について (2) 留学先の決定について
9月5日(木) ～6日(金)	第39回国内医科大学視察と討論の会 (和歌山県立医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
9月17日(火)	運営委員会 (東京ガーデンパレス)	議案 令和2年度事業計画(案)について 報告 (1) 英国短期留学選考結果について (2) 川崎学園・グリーンテンプレトンカレッジ (JMEF)フェローシップ募集について
12月26日(木)	運営委員会 (第一ホテル東京)	議案 令和2年度事業計画(案)について 報告 (1) 令和元年度事業報告(概要)について
12月26日(木)	医学教育研究助成(平成30年度) 報告会(第一ホテル東京)	詳細は「事業報告書」に記載
令和2年 1月22日(水)	審査委員会 (医学教育振興財団事務局)	議案 令和2年度医学教育研究助成の審査について
3月2日(月)	第17回理事会 (共用試験実施評価機構会議室)	議案 (1) 令和2年度事業計画について (2) 令和2年度収支予算について (3) 財団会員規程の見直しについて 報告 (1) 医学教育研究助成について (2) 職務の執行状況について (3) その他

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。